

お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

2025年最後の主日を迎えて

今年も主の守りと恵みの中で、一年を歩ませていただいたことを心から感謝いたします。喜びの時も、試練の時も、ともにいてくださった主に栄光を帰し、新しい年も主に信頼して歩んでまいりましょう。主の豊かな平安と祝福が、皆さまお一人おひとりの上にありますように。

■ 12月31日(火)は送迎礼拝を行います。

夜11時より新年を主とともに迎え、祈りの時を持ちます。新しい年に向けて、新年祈祷題目を三つあらかじめ用意してご参加ください。礼拝の中で祈祷カードを書く時間も設けられています。
皆さまのご参加をお待ちしております。

聖徒の為に祈りましょう。

- ・コロナとインフルエンザから守られますように。
- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんのがに。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)



感謝で一年を結びましょう 詩篇 116 篇 12-19 節

12 主が私に良くしてくださった
すべてに対し私は【主】に何と
応えたらよいのでしょう。13 私は救いの杯を掲げ【主】の
御名を呼び求めます。14 私は自分の誓いを【主】に果た
します。御民すべての目の前で。15 主の聖徒たちの死は
【主】の目に尊い。16 ああ【主】よ私はまことにあなたのし
もべです。あなたのしもべあなたのはしための子です。
あなたは私のかせを聞いてくださいました。17 私はあな
たに感謝のいけにえを献げ【主】の御名を呼び求めます。
18 私は自分の誓いを【主】に果たします。御民すべての
目の前で。19【主】の家の大庭で。エルサレムよあなたの
ただ中で。ハレルヤ。

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 韓芽唯(賛美リーダ) 鈴木真由美(祈祷)

夕方賛美礼拝 韓芽唯(賛美リーダ) 熊谷茂美(祈祷)

水曜礼拝 休み

礼拝時間案内

主日礼拝 AM 11:00

夕方賛美礼拝 PM 2:30

教会学校(小学生まで) AM 9:50~10:30

水曜礼拝 PM 7:00

祈祷会・火・木曜日 PM 8:30~9:30

土曜日 PM 8:00~9:00

週報 2025-52号

2025.12.28

神の国とその義を
第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

www.iidahc.com

牧師 柳承吉(ヤナギ ショウキチ)

副牧師 柳智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝

信仰告白	AM 11:00~
代表祈禱	賛美リード (使徒信条)
特別賛美	松島スヤンティ
聖書個所	インマヌエル聖歌隊
	詩篇 116 篇 12-19
	(感謝で一年を結びましょう)
メッセージ	柳承吉牧師
賛 美	神の家族
祝 祷	柳承吉牧師

夕方賛美礼拝

代表祈禱	PM 2:30~
聖書個所	賛美リード 柳澄香
	平澤寿子
メッセージ	ルカの福音書 10:2
主の祈り	(召しに応えて備えられた器)
メッセージ	柳 承吉牧師

送迎礼拝

司 会	PM 11:00~
代表祈禱	柳澄香
特別賛美	鈴木真由美
聖書個所	教会賛美チーム
	マタイ 6:33. エレミヤ書 29:11
(神の国を第一に求め、神の計画の中を歩む教会)	
メッセージ	柳承吉牧師
祈祷カードと祝福の祈り	
祝祷	柳 承吉牧師

今週の御言葉 感謝で一年を結びましょう

詩篇 116 篇 12-19 節

今日は、2025 年の最後の主日礼拝です。すべての動物の中で、時間を意識できるのは人間だけだと言われます。人は時間の流れを測るために「時計」を発明しました。そして、その時間に区切り(結び目)を作りました。

時間には「結び目」が必要です

数本の藁を燃り合わせ、途中で藁が足りなくなれば新しい藁を継ぎ足し、最後には必ず結び目を作ります。もし、どれほど時間をかけて縄をなっても、最後に結び目を作らなければ、すべてはほどけてしまいます。私たちの時間も同じです。一年を過ごしたなら、その一年を正しく結ばなければなりません。一年の結び目がしっかりとこそ、希望をもって新しい年を迎えることができるのです。この一年を何で結びたいでしょうか。様々な選択があると思いますが、「感謝のひも」で一年を結ぶことをお勧めしたいのです。しかし、「感謝できることはありません」苦しく、厳しい一年だったからです。しかし、聖書は「祝福が感謝を生むのではなく、感謝が祝福を生む」と。

感謝で人生を結んだ人 — ヨセフ

ヨセフは父ヤコブに愛され、兄たちの妬みを買い、奴隸として売られました。エジプトでの奴隸生活、濡れ衣による投獄、忘れ去られる苦しみ、彼の人生は、十年以上も理不尽と苦難の連続でした。しかし、ヨセフは一度も不平や恨みを口にしていないことです。なぜでしょうか。それは、彼がどんな状況でも「神が私と共におられる」と信じていたからです。だから彼は、人生の節目ごとに、不平ではなく、感謝で結び目を作ったのです。やがて彼は兄

たちにこう告白します。「私をここに遣わしたのは、あなたがたではなく、神です。」苦難の中にも神の摂理を見た、信仰の告白でした。

不平で人生を結んだ人 — サウル王

彼は神に選ばれ、イスラエルの初代王とされ、勇敢な息子ヨナタン、忠実な若者ダビデにも恵まれました。しかしサウルは、感謝ではなく、不平と妬みと怒りで人生を結んでいきました。その結果、彼は神との関係をも失い、戦場で悲惨な最期を迎えることになります。

二割五分の人生でも、感謝できる

野球では、三割打者は一流です。十回に三回打てば、十分立派だと言われます。皆さんのこの一年は、何割の人生だったでしょうか。もしかすると一割のように感じる方もいるかもしれません。でも、すべてがうまくいかなければ感謝できないとしたら、私たちはいつも不満の中で生きることになります。三つのうち、一つでも良い選択ができたなら、それは感謝すべきことです。

「トントン、なでなで」の信仰

まず、自分自身に言ってあげてください。「この一年、よく頑張ったね。大変な中でも、本当によくやった。」そして、家族に、同僚に、隣人に、「あなたがいてくれて感謝しています」と伝えてください。

感謝で結ぶ一年

私たちは今、2025 年の終わりに立っています。失敗や足りなさを数えて不平で結ぶのではなく、学びと、小さな実りを見つめ、感謝で一年を結びましょう。

感謝で 2025 年を結ぶ皆さん之上に、主の豊かな恵みが満ちあふれますように。

主イエス様のお名前によって、心から祝福いたします。